

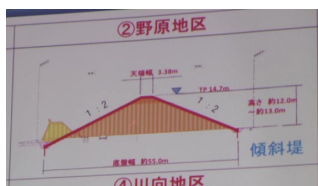
宮古発

「防潮堤」説明会



「万里の長城」と呼ばれた巨大防潮堤の復旧に向けて、宮古市田老地区で住民30人ほどが参加し説明会が開かれました。説明会で県は壊滅的な被害を受けた海側の防潮堤については、その多くを震災前の直立した堤防から小山の様な「傾斜堤」に変更し、粘り強い構造とする方針を示しました。また堤防を通り抜ける「陸間(りっこう)」や、上をまたぐ道路の位置や数も明らかにされました。完成時期については当初計画より1年遅い再来年3月にずれ込むとの見通しを示しました。これに対し住民からは「防潮堤ができないと家も建てられない」と早い整備を求める声が上がっていました。

(1/14 ニュースエコー)



盛岡発

いわて三陸復興フォーラム

震災からの復興を加速させようと様々な分野で、復興に携わる人達が参加し、意見を交わす「いわて三陸復興フォーラム」が開催されました。さらに復興を加速させようと県が開いたもので、会場の盛岡市のアイーナでは、神戸から移り住み大槌災害FMの運営を行っている清水章代さんらをパネリストに迎え、パネルディスカッションが行われました。また、大槌町出身の歌手白澤みさきさんのミニライブも行われ、参加者は、美しい歌声に耳を澄ませました。(1/15 ニュースエコー)



大槌発

土地の収用裁決を申請

大槌町は被災者の集団移転用地を確保するため、被災3県で初めてとなる改正復興特区法による土地の収用裁決を申請しました。大槌町の安渡地区に48戸の整備を計画している住宅団地の用地の一部で、記録されている5人の所有者の所在がわからず取得が困難な状況が続いていました。このため町は、50戸未満の事業も収用の対象とする改正復興特区法を活用し、県収用委員会に裁決を求めたものです。(1/15 ニュースエコー)



(1/15 ニュースエコー)

山田発

清掃ボランティア



被災地の復興を最前線で支える道路工事の関係者が山田町の国道で清掃ボランティアを行いました。宮古管内には復興道路の建設など全国各地から数千人の工事関係者が来ています。清掃活動は業者でつくる協議会が企画したもので、管内47社から130人ほどが参加し、山田町の国道45号線の歩道や道路標識を清掃していました。工事関係者は「皆が一堂に集まることで道路の完成に向け士気を高める機会にもなった」と話していました。

(1/18 ニュース)

大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は大船渡「FMねまらいん」の伊藤こずえさんが、毎年この時期に開催されている「第18回つばきまつり」について伝えてくれました。「世界の椿館・基石」には世界13カ国550種類の色とりどりの華やかなツバキが咲き誇っています。3月22日までの開催期間中は色々な催しがあります。2月にはピンク色の花びらを模ったツバキクレープの販売、3月には椿油の搾り体験などもあります。伊藤さんは「ツバキの花はこれからが見頃になりますので、ぜひいらして下さい」と話していました。(1/21)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.abc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122